

令和元年度安芸市総合教育会議 議事録

日時：令和2年2月21日（金）

10時45分～12時00分

場所：安芸市役所 第1・2会議室

（出席者）

安芸市長 横山 幾夫
安芸市教育長 藤田 剛志
教育委員 森尾 昭博
教育委員 門脇 茂利
教育委員 山村 泰秋
総務課長 植野 浩二
総務課長補佐兼総務係長 横井 克彦
教育次長兼学校教育課長 植野 誠一
学校教育課長補佐兼学校教育係長 秋山 真樹
学校教育課主幹 谷 めぐみ
学校教育課主幹 大崎 智太

（欠席者）

教育委員 貞廣 佳子

（議事の経過）

開会 10時45分

植野（浩） 定刻となりましたので、安芸市総合教育会議を始めさせていただきます。私は事務局の総務課長、植野でございます。よろしくお願いいたします。

横井 横井と申します。よろしくお願いいたします

植野（浩） 当会議は市長が招集し設置するもので、市長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し一致して、それぞれの所管する事項の執行にあたるものでございます。今回は議事にありますように、「安芸市統合中学校について」と「令和2年度教育予算の概要について」を協議事項としています。

なお、会議終了後、本会の議事録をホームページで公開致しますのでご承知おき下さい。なお、本日、貞廣委員は欠席です。

それでは、設置要綱の「第4条 市長が会議の議長」となりますので、横山市長よろしくをお願いいたします。

横山 ただいまより「令和元年度 安芸市総合教育会議」を開会致します。開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして、感謝申し上げます。

日頃から、教育委員の皆様方には、本市の教育行政全般の推進に、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、改めてお礼を申し上げます。

さて、昨年度は、国の臨時特例交付金事業により、ブロック塀の改修及び空調設備整備が全国的に進んでまいりました。本市におきましても、市内小中学校の危険個所であったブロック塀の改修そして、教育環境整備策として、普通教室、特別教室に空調を順次設置しておるところでございます。

また、本年度は、GIGA スクール構想を推進するべく、校内 LAN の整備、一人1台の端末機の整備が打ち出され、本市も校内 ICT 環境の整備を図ってまいり所存でございます

次に、現在進めている統合中学校の状況についてお話しさせていただきます。統合中学校の基本設計が完了し、現在実施設計を進めているところでございます。あわせまして、造成工事の本格発注するべく、去る2月18日に入札を予定していたところですが、校舎や体育館などの建設予定ヵ所から古代の寺院跡と推察される遺構が出土し、本調査の必要が見込みとなりました。これを受け、この度統合中学校の造成工事を本調査と並行して実施することが極めて難しい。仮に入札しても落札業者に多大なご迷惑をおかけすることが懸念されることから入札の延期を決断したところです。

なお、統合中学校の建設につきましては、庁内職員が心を一つに全力を挙げて取り組んでいくことで工事期間の圧縮させてまいりたいと考えています。

結びになりますが、本会議は、平成27年度から市長と教育委員会が、円滑な意思疎通を図り、本市の教育課題及び目指す学校像などを共有しながら、お互いが連携して効果的な教育行政を推進してまいりました。今後も引き続き「国」・「県」とベクトルを合わせた本市の教育を推進していけますよう、委員の皆様には、忌憚ないご意見、ご提案を賜

りますようお願い申し上げます。

それでは、議事の進行は、事務局の植野総務課長を指名致します。よろしく申し上げます。

植野（浩） わかりました。それでは進行させていただきます。

会議次第に沿って進行して参りますが、はじめに、安芸市立統合中学校について、学校教育課より報告をしていただきますが、質問等は説明が終わってからお願いします。

大崎 学校教育課の大崎と申します。よろしく申し上げます。

まず、土地の取得につきましては、平成 29 年 11 月 16 日から平成 30 年 5 月 2 日にかけて、農地法第 5 条による許可及び安芸市議会の議決を得られたときに土地を引き渡すものとするという条件を付した仮契約をすべての地権者と締結しました。

そして、令和元年 11 月 21 日に高知県から農地転用許可をいただき、令和元年 12 月 19 日に市議会で財産取得についての議決が得られたことにより、売買が成立しました。

その後、相続登記や分筆登記、所有権移転登記など、個々の状況に応じて手続きを行い、登記を完了し、令和 2 年 2 月 20 日に土地代金の支払いが完了したところです。

今回ご協力いただいた地権者のみなさまに感謝するとともに、期待に応えられる学校づくりを進めてまいります。

次に、今回の統合中学校の基本構想は、安全・安心で『誰もが行きたくなる、行かせるい中学校』を目指しています。

統合中学校は、安芸市の宝である子どもたちの命を守ることはもちろん、統合し、生徒数を確保することにより、生徒が多様な価値観に触れ、切磋琢磨できる環境を提供します。そして、安芸市で 1 つの中学校となることから、東部の拠点校としてふさわしくなるよう人的・金銭的な投資を集中することにより教育環境の充実を図ります。

「子育てをするなら安芸市で」を目指し、子育て世代の安芸市への移住を増やす核となる学校とします。

次に、平成 30 年 12 月に基本設計業務を発注し、設計業者から提案された計画案を基に、清水ヶ丘中学校、安芸中学校の両中学校の教職員との協議や地域の方や自主防災会、PTA の方などを対象に設計についてワークショップを行いました。いただきました意見を整理し、基本設計に反映しました。

現在、実施設計に取り組んでいますが、建築費用や敷地造成費用、上下水道の整備など総事業費は概算で約 49 億円を超える見込みです。

総事業費が大きくなっている要因は、東日本大震災や東京オリンピックによる資材や人件費が高騰しているからです。さらに防災機能面において、避難所となる屋内運動場

に空調を完備するうえ、自家発電を整備するなど充実を図ったことがあげられます。

また、校舎棟の屋根は、陸屋根にすることも検討しましたが、雨漏りした場合どこから漏れているのか特定が難しく、陸屋根の現校舎も、雨漏り対応に苦慮しているのが実情です。

高知県の風雨への対応としては、切妻屋根が好ましいうえ、瓦屋根はインシヤルコストこそ大きくなりますが、ランニングコストは小さくなり、総額では安くなると考えます。

さらに土居地区の原風景に馴染む風情ある外観として、南舎と玄関口の屋根は瓦屋根を採用する予定です。

なお、事業費につきましては、実施設計において精査を進め、安芸土木事務所から盛土用の土を譲っていただくなど総事業費削減に努めてまいります。さらに有利な財源を充て、後世の負担を少しでも減らしていくようにいたします。

次に施設の特長的なところについて、ご説明いたします。

新たな学校施設として、今までの安芸市の学校になかったランチルームを計画しております。この空間では、学年単位や異学年などで一緒に給食を食べることができ、生徒の交流や食育の授業を行う場としての使用はもちろん、プロジェクター等の ICT 機器を充実させ、講師を招いた講演会の開催など、用途を限定しない多目的に使用することができる空間といたします。

次にランチルームの右側に配置しているメディアセンターですが、こちらは学校図書館とパソコンコーナーを設けた空間となっております。生徒の学習を支援し、調べ学習等の必要な情報を収集できる機能を持つ空間としております。

校舎棟の中央には中庭を設け、生徒の憩いや交流の場としてはもちろん、ステージでの演奏会や発表会など、様々な場面で活用できる場所として考えております。

また、エレベーターを設置し、身体の不自由な生徒や教職員、来客の方でも安全かつ円滑に学校生活を送ることができるよう整備いたします。

次に屋内運動場ですが、1階はアリーナと武道場を設置しています。

2階にはアリーナ廻りに、部活動等で雨天時でもランニング等の練習ができるよう、ランニングコートを設け、大会等の観戦の場としても活用できる計画としております。また、卓球台8台が常設できる卓球場を設けております。

災害時には、この屋内運動場が避難所の拠点となることから、空調設備の整備や備蓄倉庫の設けております。空調設備は非常用発電機とつなげ、電力供給が遮断された場合でも稼働できるよう整備します。

次にプール棟ですが、長さ25mで8コース計画しております。2階には多目的室を整備し、部活動の合宿や学習支援などで使用できる多目的な利用ができる空間で、災害時

には避難場所としても活用できる計画としております。

運動場は、部活動の充実を図るため野球とサッカーが同時にできる広さを備えております。

建物の構造については、全棟、鉄筋コンクリート造となっております。内装については、積極的に県産材で木質化を進め、温かみのある学校空間となるよう計画します。

最後に、昨年12月議会で敷地造成工事に係る650,000千円の補正予算を市議会で可決していただきました。

そのことと並行して、令和元年12月18日～20日に統合中学校のグラウンドにあたる場所において、埋蔵文化財の試掘調査を実施したところ、一部に建物跡が確認されたものの、その発見密度が限定的であったという結果が出ました。

そのため、敷地造成工事と埋蔵文化財の本調査を並行して実施できると判断し、令和2年1月23日に一般競争入札の公告を行いました。

しかし、令和2年2月3日～11日に、造成地北側の校舎等建設予定箇所において、試掘調査を実施した結果、古代（飛鳥時代～奈良時代）の瓦、建物跡・溝等の痕跡が多数確認され、当該地が「僧津」という地名でもあることから古代寺院跡の一部であるかもしれないということで、高知県教育委員会文化財課及び安芸市教育委員会生涯学習課と協議し、今後、本調査で詳細に確認する必要性が生じました。

本調査の面積は、建物部分 約7,000㎡、擁壁部分 約3,000㎡、水路部分約600㎡の合計約10,600㎡に及びます。

平成26年度に実施しました安芸市立学校給食センターの本調査の面積は、約1,000㎡。実施主体は直営で4ヶ月程度の期間を要しています。

以上の内容を踏まえ、庁内で協議した結果、敷地造成工事と本調査を並行して行うことが困難であると判断しました。

工事の進捗に見通しが立たない状況で入札を実施すれば、落札業者に多大なご迷惑をおかけすることが想定されるため、令和2年2月18日に予定していた入札を延期いたしました。

子どもの命を守ることや教育環境の充実を図るため、統合中学校の建設は早く進めなければなりません。しかし、一方で埋蔵文化財の保護についても教育委員会が所管しております。

担当課としましては、本調査を専門業者に委託すれば直営と比較して、費用は多くかかりますが、調査期間を大幅に短縮できると生涯学習課から聞いております。

ぜひ本調査を委託し、期間短縮につなげ、統合中学校の建設事業を進めていけるよう、検討を進めてまいります。

昨年12月議会では、「令和5年度の開校を目指します。しかし、埋蔵文化財の発掘の

状況によっては、この限りではありません」と申し上げた経過がございます。現時点で明確な開校時期をみなさまにお示しすることができなくなりまして、大変申し訳ございません。お詫びを申し上げ、私からの説明を終わらせていただきます。

植野（浩） 学校教育課から安芸市立統合中学校についての説明がありましたが、何か質問はありませんか。

門脇 寺院跡かもしれないということで、高知でもこのような遺跡が多くは出ていないということから、重要な遺跡であると聞きました。過去の遺跡調査の期間と比べてもかなり調査が長期になるということも考えられますが、工事の進捗はこれからの調査によるということでしょうか。

藤田 そうということになります。調査は専門の委託業者に調査してもらうことになると思います。

門脇 今まで専門的な人にやってもらっていなかったのですか。

大崎 学芸員が主体となって、県の文化財課の助言をもとに直営で行ってきました。給食センターの実績として、直営での調査で約 1000 m²が 4 か月程度かかっています。今回の調査対象面積としては約 10 倍の面積になっているので、直営での調査になると時間がかかってしまうため、できれば専門の業者に委託した方が良いと考えられます。

門脇 それではこれからは、ある程度専門的な知識をもった人で、人数を増やして、できるだけ早く進めていきたいということですか。

大崎 そうです。

植野（浩） 他にありませんか。

教育委員 ありません。

植野（浩） 続いて、議題 2 の令和 2 年度教育予算の概要について学校教育課、生涯学習課の順で報告をしていただきます。それでは、学校教育課よりお願いします。

谷 9 ページをご覧ください。当初予算のご説明の前に、3 月補正予算のうち、GIGA スクール構想に関してご説明させていただきたいと思います。

GIGA スクール構想とは、Society 5.0 時代に生きる子供たちの未来を見据え、児童生徒向けの 1 人 1 台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構

想です。

GIGA スクール構想の実現に関する国の補正予算が可決されたことに伴いまして、安芸市においても、3月補正予算で、各小中学校の校内 LAN 整備及び一人一台端末整備を要求しています。

中段の事業スキームをご覧ください。(1) のほうが、校内 LAN 整備事業にかかる補助金で、総事業費に対し、国から 1/2 の補助があります。(2) のほうが一人一台端末整備に係る補助金で、定額で 1 台あたり 45 千円の補助があります。安芸市においても校内 LAN 整備に 81,000 千円、端末整備に 16,500 千円を 3 月補正予算で要求しています。

10 ページから 12 ページが校内 LAN 整備事業についての詳細です。令和 2 年度中に整備する校内 LAN 工事が対象で、1 回限りの補助ですので、安芸市内小中学校全校で整備を計画しています。年度当初から発注に向けて準備し、年度内には完了させる予定です。

13 ページが一人一台端末整備事業についての詳細です。令和 5 年度までに整備する端末のうち、児童生徒 3 人に 1 台分を超えて整備するものが補助の対象です。国のロードマップでは、令和 2 年度が小学校 5 年 6 年と中学 1 年、令和 3 年度が中学 2 年と 3 年、令和 4 年が小学校 3 年 4 年、令和 5 年度が小学校 1 年 2 年に端末を整備するようになっていますが、安芸市においてもこのロードマップに従い、来年度は小学校 5 年 6 年と中学 1 年に整備を考えています。パソコン教室のパソコンも含めた、一人一台端末の整備となります。

14 ページをご覧ください。囲みで、学校の ICT 環境整備に向けた目標水準が記載してありますが、安芸市においては、学習者用コンピュータ、指導者用コンピュータは一人一台を整備していきます。電子黒板については来年度、各普通教室に 100%整備が完了します。無線 LAN は 100%整備を進めます。統合型支援システムは 100%整備が完了しました。ICT 支援員については、来年度、教育委員会に配置できるよう計画を進めています。このように、この度の国の新たな補助金を活用して学校の ICT 環境整備を加速化していく予定です。

続いて、16 ページ、17 ページにて、令和 2 年度当初予算について概要をご説明いたします。

まず 16 ページの予算の概況をご覧ください。教育委員会事務局費は、幼稚園の無償化に伴う負担金の増により、対前年比 115.7%となっています。教育指導費については小学校教科書改訂に伴う教師用教科書、指導書の購入のため、対前年比 140.4%となっております。中学校管理費では、新中学校用地造成工事のため、対前年比 138.9%となっております。このようなことから、教育費全体では、843,151 千円、対前年比 135,420 千円の増、対前年比 119.1%となっています。

17 ページをご覧ください。新たな取り組みや事業内容が変化したものとしまして、主なものをご説明いたします。

まずは、先ほどご説明しました、校内 LAN 整備、一人一台端末整備という ICT のハード面での整備に加えてソフト面での支援としまして ICT 支援員の配置を考えています。教育委員会に配置し、各学校の要請に応じて訪問させていただく予定です。情報

教育を進めるうえでの機器の不具合等に関する対応や、プログラミング教育等についての指導に関する支援などを考えています。

次に、小学校、中学校の自転車通学のためのヘルメット購入に係る補助を実施します。新中学一年生と小学生について購入費のうち定額 2 千円を補助します。残りは保護者負担になります。

最後に、中学校建設事業ですが、井戸調査委託、用地造成工事、下水道管渠敷設工事を行う予定となっております。以上で学校教育課の説明を終わります。

植野（浩） 続いて、生涯学習課より説明をお願いします。

長野 生涯学習課所管の当初予算の概要につきまして、ご説明いたします。

資料の、18 ページをお開きください。まず、「予算編成方針」につきましては、記載するとおりでございますが、本市の基本構想・安芸市教育振興基本計画等に基づいて「いつでも どこでも 誰でもが学習することができ、また、その学習成果を生かすことのできる生涯学習環境の実現」を目指して、令和 2 年度も引き続き取り組んでまいります。

続いて「予算の概況」を、ご説明いたします。まず、生涯学習課全体の予算規模としましては、371,588 千円の予算で、対前年度比 約 134.81% で前年度より 95,959 千円の増額となっております。予算区分の目毎に全予算を掲載し、それぞれ増減理由を記載してありますのでご参照ください。

次に、20 ページの「廃止・休止した事業」につきましては、該当がございません。

次に、「新規事業及び継続事業で事業費・事業内容が変化したもの」について、一部、補足説明をさせていただきます。10 款 4 項 1 目の「社会教育総務費」の放課後児童対策事業では、利用者の増加により待機児童が発生している土居学童保育所の待機児童の解消を図るため、土居小学校区に、新たに、第 2 学童保育所を整備し、受け入れ児童数の拡大を図るため、実施設計委託料 2,464 千円を計上しています。また、第 2 学童保育所が整備出来るまでの間、土居公民館で土居学童保育所の待機児童の受け入れを行うため、新たに「放課後居場所緊急対策事業」を実施するべく、委託料 998 千円を計上しています。10 款 4 項 2 目の「公民館費」では、地震や豪雨等の大規模災害発生時に、指定避難所となる公民館 9 館へ、空調設備の整備を図るため工事費 60,000 千円を計上しています。10 款 5 項 3 目の「体育施設費」では、阪神タイガースのキャンプ地として、全国に知られる本市において、キャンプに訪れる多くのファンや施設利用者の満足度向上を図るため、市営球場へスピードガンを工事費 13,200 千円で整備し、スポーツキャンプのまちづくりに一層取り組んでまいります。11 款 5 項 1 目の「過年発生補助災害復旧費」では、平成 30 年の 7 月豪雨で被災した畑山ふるさと交流センターの建物の洗掘に係る災害復旧工事費を事業費 40,000 千円で実施いたします。

このほか、社会教育総務費では、誰もが学べる学習環境づくりや芸術文化の振興等を目的として、市展、夏季大学等の開催などに取り組むほか、統合中学校及び新庁舎予定地において、埋蔵文化財発掘調査を実施し、遺跡等の適正な保存・調査に取り組んで参

ります。美術館費では、「安芸全国書展」並びに「安芸全国書展高校生大会」の開催し、書道文化の発展と次世代育成を推進して参ります。

スポーツ振興では、4月21日に本市で開催される聖火リレー及び出発式に係る警備の委託料ほか、市体育館トレーニング室にトレーニング機器の追加購入費を計上しています。また、ウエスタンリーグ公式戦を本年9月12日(土)・13日(日)の両日、安芸市営球場で行うほか、市営球場のライト側通路拡幅工事を行い、利便性向上と、大規模災害時の医療・救護の拠点施設として整備して参ります。

以上、簡単ではございますが、生涯学習課の来年度の当初予算編成方針の説明といたします。

植野(浩) ありがとうございます。それでは報告をいただきました、「令和2年度教育予算の概要について」ご質問やご意見をいただければと思います。

植野(浩) 学校では対前年比20%増、生涯学習課は30%以上の増額ということの予算の増額があると思いますが、詳しい説明はありますか。

植野(誠) 当初予算ということなので、この金額で決定というわけではありません。また議会で詳しく説明していくことになると思います。

横山 財源について言いますと、例えば、畑山ふるさと交流センター等の災害復興工事の財源ですが、すべてを市単独で負担することは難しいので、全体の70%は国からの支援となり、残りの30%のうち15%は県、15%を市からの財源となります。

植野(浩) 他に何かご質問はありませんか。

森尾 ICT支援員は良いと思います。かつてパソコンが普及したときに、教育研究所に研究員がいて、学校の問い合わせに対応をしていたこともあります。

それから、統合中学校については、東部で一番のすばらしい学校にしてほしいと思います。あそこに行けばこんな勉強ができる、部活ができるというような学校を目指してほしいです。

これからの児童生徒数から判断すると、新しく中学校を一つにできても学級数、職員数が減ってくるのが考えられます。教職員、加配職員が増えるように県の指定研究をしてほしいと思います。地域と学校との交流を行う、生徒を学校に宿泊させて何かできることがないかなどなどの指定研究をして加算がつくようなことをしていかないと厳しいと思います。

また、市外から人をどう呼ぶか、策を考えていく必要があると思います。

藤田 赤野小学校については、現在芸西中学校に行っていますが、統合中学校ができれば芸

西ではなく安芸へ来てほしいとお願いしているところですが、保護者からは、どちらか選択できるようにしてほしいという声があがっています。

指定事業については情報を積極的に仕入れて取り入れていきたいと思います。

植野（誠） 生徒の確保については、現在、部活数が少なくなっているのので、部活動が充実することで人が集まりやすくなると考えています。情報教育も積極的に取り組んでいかなければならないという考えを重点にしながら、他市町からも通学してほしいと考えている。

門脇 赤野から来てもらうことになったら、スクールバスも考えないといけないと思います。

藤田 スクールバスの必要性については、部活動もあるのでどういうふうにしていくかこれから検討していきますが、鉄道やバスを活用してほしいと考えています。

門脇 合わせて、自転車で通学する者についても安全に通学できるようにしてほしいと思います。

藤田 安全面については、しっかり考えていく。

植野（誠） 自転車通学の安全面について話がありましたが、高規格道もどんどん進んできています。野良時計の前の通りから南は県の整備があり、それより北は通学路として、安芸市の方で歩道を整備していきます。

門脇 野良時計から南の県道はグリーンベルトがあり、わかりやすく安心感がある。

植野（誠） 通学路の安全については、各道路管理者、警察、学校等が集まって協議し、合同点検を実施することで、危険個所の確認と学校への防犯カメラの設置など、対応策を講じているところです。また、順次整備していきたいと考えています。

植野（浩） 他にご意見等ありませんでしょうか。

山村 G I G Aスクール構想に関する事業についてお聞きします。どんな端末を導入する予定ですか。学校現場からは、パソコンの入れ替えにより、ソフトが変わって使いづらいという声も聞きますが。

谷 一人一台端末整備の基本モデル例としてWindows, Chrome, iPadの三つOSの例があり、いずれも教育用に無償で提供されている学習用ツールのライセンスを活用します。安芸市においてはこれまで使用してきたパソコンと同じWindowsを考えていますが、説明会では、Chromeの丈夫さであったり、iPadは操作性

が優れている点なども聞きまして、学校の意向も踏まえつつ、いずれかに決定したいと考えています。

山村 いろいろな端末が混在しないように、統一したほうが良いと思います。

谷 はい、学校の意向も踏まえつつ、いずれか一つに絞りたいと思います。

森尾 テニスコートの設計については、狭い部分があるので、全体的に西と南に寄ってはどうかと思います。

大崎 実施設計の中で、検討していきます。

山村 受付が玄関内にあるが、防犯面で、中に入らなくても外から受付ができるようにするべきだと思います。

大崎 実施設計の中で、検討していきます。

植野（浩） 他にありませんか。

全員 ありません。

植野（浩） 以上で議事を終了致します。報告をしてくださった皆様、ありがとうございました。それでは進行を市長にお返しいたします。

横山 はい、植野総務課長ありがとうございました。それでは最後の「その他」で何かございませんか。

全員 ありません。

横山 それでは、以上で、令和元年度 安芸市総合教育会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

閉会 12時00分